



さやま市民大学

元気な狭山を支える人づくりと人を活かす仕組みづくり



調査・研究

まちづくりを担う人材の育成



地域社会

学びの成果を地域に活かし地域課題を解決へ



元気な狭山に

協働のまちづくり

地域課題に市民の皆さんと行政が目的を共有し相互に連携して取り組みます

- 防犯・防災
- 高齢者支援
- 子育て支援
- 学校支援
- 地域活性化
- 就労支援
- 環境美化
- 環境問題 など



地域連携推進室

地域社会

学びをとおしての生きがい…そして、仲間づくり

「さやま市民大学」の専用キャンパスは、小学校校舎跡を利用した「狭山元気プラザ」内にあります。ここには普通教室のほか、パソコンルームや調理室など多様な学習環境が整い、さらに、保育室も完備。子育て中の方でも安心して授業に参加することができます。また、修了生の実践的な学びの場として運営しているコミュニティカフェでは、日替わりランチを楽しみながら、学生気分も満喫できます。

そして、市民大学の運営は、市民主体の「NPO法人さやま協働ネットワーク」に委託し、市と市民との協働で行っています。

「さやま市民大学」では、学びの成果を活かすためのサポートも充実。それが「地域連携推進室」です。「NPO法人を立ち上げたいけどどうすればいいか」など、受講生や修了生からの相談に応じてくれます。また、地域からのニーズに合った人材をコーディネートするなど、「さやま市民大学」と地域をつなぐ役割も担っています。

「修了後の地域での活動をサポート」

ググーンとパワーアップ!



「さやま市民大学」

平成26年4月に新規開校した「さやま市民大学」。今回は、2年めに向けてさらに充実した市民大学の概要と27年度受講生の募集についてお知らせします。

「さやま市民大学」ってどんなところ?

急速な少子高齢化などにより地域の活力が失われつつある今、さまざまな地域課題を解決するための取り組みが一層求められています。そこで、平成26年4月に、「元気な狭山を支える人づくりと人を活かす仕組みづくり」を基本理念に、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ(SSCC)と狭山元気大学が統合して開校したのが「さやま市民大学」です。

「さやま市民大学」は、学校教育法上の「大学」ではありません。活力ある地域社会を実現し、まちづくりの活動を担う人材を育成することを目的とした、幅広い世代が学ぶ「大人の学び舎」です。地域コミュニティや社会のために役に立てる自分の居場所をつくりたいという皆さんの「思い」を応援しています。

「さやま市民大学」と協働
市が進める「協働」とは、地域課題の解決に向けて、市民の皆さんと行政が目的を共有しながら相互に連携し、取り組んでいこうとするもの。現在、「さやま市民大学」の前身である狭山シニア・コミュニティ・カレッジや狭山元気大学で

学んだ多くの修了生が、学びの成果を活かして、地域活動やボランティア活動などで活躍しています。そして、この春、400名を超える「さやま市民大学」の第一期生が、新しい仲間と手を携えて巣立っていきます。自分たちの手で自分たちのまちを安心できる住みやすいまちにする、その思いを形にし、この大学で学んだことをさまざまな場所で活かしていくこと「協働」の原動力です。

「学び」のカリキュラム

「さやま市民大学」は、27年4月からの講座内容を大幅に見直して、パワーアップしました。まちづくり、健康・福祉、いきがいの3コースと特別講座のカリキュラム。調査・研究を主とするものから、実用パソコンや地域ジャーナリスト養成、ウオーキングなど、多くの仲間たちと語り、学ぶことのできる講座を取り揃えています。講師の話も聴く講義形式だけでなく、ワークショップや実習、外部視察などをとおした多方面からの学びも大切にしています。また、学校行事である入学式、修了式に加え、受講生が主体となって行う体育祭や学園祭などで市民大学全体の交流も図ることができます。